

## 2020年度 第7回 日本受精着床学会雑誌優秀論文賞 受賞者紹介

世界体外受精会議記念賞選考委員会  
委員長 森本 義晴

本学会では、「受精ならびに着床に関する研究を推進して、生殖学の発展に寄与し、人類の幸福に貢献する。」という本学会が定める目的、理念に基づき、2013年度より「日本受精着床学会雑誌優秀論文賞」を授与しております。この度、論文賞規定第2条に従い、2019年発行の第36巻第1号ならびに第2号に掲載された計44編の中から推薦を受けた論文について、論文賞選定委員会の審査による第1次候補論文の選定・推薦を受け、世界体外受精会議記念賞選考委員会による最終審議を行い、下記の方々に論文賞を授与することを決定いたしました。

(2020年10月22日(木)、第38回日本受精着床学会総会・学術講演会にて受賞論文が発表され、後日、賞状および目録が受賞論文の著者に郵送にて贈られました。)

本賞は、本学会誌に掲載された受精着床学分野における学術・技術の進歩、発展に顕著な貢献をなしたと認められる論文で、臨床より2編、基礎より2編、広域より1編、計5編以内が選ばれ、著者である正会員あるいは学生会員に授与されます。今年も、多数の優れた候補論文が推薦されることを期待しております。

		授与年月日 2020年10月22日
2020年度 第7回日本受精着床学会雑誌優秀論文賞		
臨床	著者	宗 修平、他5名
	所属	浜松医科大学 生殖周産期医学講座
	論文題目	凍結融解胚移植における臨床的癒着胎盤リスク因子の探索
	掲載頁	第36巻 第1号 pp120-127
基礎	著者	坂本 紘史、他4名
	所属	県立広島大学大学院 総合学術研究科
	論文題目	ウシ卵子の体外成熟へのEGFとIGF-1またはIGF-2添加は、ICSI後の胚発生を高める
	掲載頁	第36巻 第1号 pp75-82
※「臨床報告・広域」部門については、本年度は該当なし。		